

かし

栄西・栄東・丘珠 地区版



生活支援体制整備事業とは・・・

いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、多様な主体（町内会や老人クラブ、ボランティア組織、社会福祉法人、NPO 法人、民間企業など）が連携して地域の中で高齢者のちょっとした手助け（生活支援）をみんなで協力して進めていくための事業です。

生活支援コーディネーターは、住民の皆さんと一緒に、支え上手・支えられ上手な地域づくりを進めます。

生活支援コーディネーターの役割 支え合いの仕組みづくりを推進

地域の資源や課題、ニーズを 見つける



アンケート調査や聞き取り、関係機関の会議へ出席などにより地域の資源や困りごとを把握し、共有します。

地域に不足している資源を、住民と共に つくる



介護予防と生活支援に役立つ情報を、地域住民の皆様の意見を反映し、見える化を行います。

すでに活動しているひと、団体をはぐくむ



東区では「くらしのサポーター養成講座」を開催し、ちょっとした困りごとの手助けや地域づくりを一緒に進めていけるよう考えています。

すでに活動している団体、企業、関係機関と つながる



地域住民の皆様と団体、企業、関係機関と地域の課題を共有し考える場づくりを支援します。



東区版 くらしをささえる情報

この一冊は、札幌市生活支援体制整備事業（東区）のホームページでも掲載しております（QRコードからアクセスできます）

「東区版 生活支援サービス等一覧（くらしをささえる情報）」を
更新しました！ホームページ（東区社会福祉協議会 生活支援体制整備事業）
に掲載中です。右のQRコードから各区の一覧が閲覧可能です。
ご利用の際は料金・内容のご確認をお願いします。





支えつつ支えられる地域づくりを目指して

丘珠地区で担い手養成！



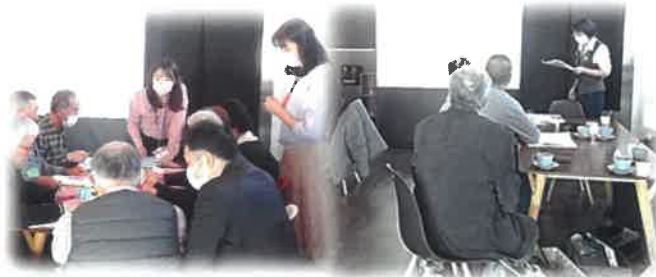
令和7年3月、初の試みとしてカフェを会場にした「くらしのサポーター養成講座」を北丘珠地区で開催しました。自己紹介、助け合いゲームで交流を深めた後、介護保険に関する講話では「ヘルパー業務でできること、できないこと」をクイズ形式にして楽しく学びを深めていきました。

介護保険では解決できないちょっとした困りごとが身近にたくさんあることを共有し、支え合いの重要性を再確認する機会となりました。

Q1：「介護保険でヘルパーさんに
お掃除、買い物、**なんでも**お願いしたいのですが・・・」



A1：ヘルパー業務の中には、**できないこと**もあります。またお身体の状態によって**内容や頻度も異なります**ので、詳細/不明点は第3地域包括支援センターにお問い合わせください。（電話 011-722-4165）



ささえあいのつどいを 開催しました

栄東地区

自分たちの地域を良くしたいという気持ちを持った参加者が集まり、地域の現状を共有しながら、ささえあいの地域づくりについてざっくばらんに話し合いました。

「自分たちだからできる内容がある」「いきなり活動するというより、こうやって何か話すことから始めてもよい」「おたがいさまの関係で解決できる困りごとはたくさんある」「ちょっとした手助けが大事だと再確認できた」「好きなことや、得意なことなら負担がない」などたくさんの意見が出されました。

住み慣れた地域でこれからも住み続けるには、地域住民の協力だけでは解決困難な内容もあります。しかし、顔見知りだからこそ手を貸せることや、伝えられることもたくさんあります。みなさんの力を地域の力にしていましょ！



【取り組みやすそう！と選ばれたカード】

話し相手・かかわり・つながり

ゴミ関係

地域の支え合いで取り組みやすそうな項目のランキング（グループワークの結果）

- 1位 話し相手/人とのかかわり/つながり
- 2位 ゴミ関係/生活に必要な情報の入手/町内会の当番ができない



この記事に関する問い合わせ先 東区社会福祉協議会 電話 011-741-6440

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目1-1 東区民センター1階

第2層生活支援コーディネーター 熊谷（栄西、栄東、丘珠地区担当）

